

令和7年第4回敦賀市教育委員会 議事録

1. 日 時 令和7年4月9日(水) 15時00分～15時35分
2. 場 所 市役所3階 301会議室
3. 出席者 教育長 花木秀実 教育長職務代理者 岸本松則
 委員 堺啓輔 委員 宮川和彦
 事務局 事務局長 山田博道
 教育総務課長 中川有希 学校教育課長 長谷川大紀
 生涯学習センター所長 鈴木一良 教育総務課長補佐 山本久美子
 教育総務課係長 刀根慶太 教育総務課職員 小串康子

4. 内 容

(1) 教育長あいさつ

(2) 議事

1. 前回議事録の件

(教育総務課長説明)

異議なく承認

2. 報告事項

○第1号 教育委員会の共催・後援の件

(担当課長説明)

・共催2件、後援9件(うち新規1件) 新規について説明

区分	担当課	件名
後援	学校教育課	令和7年度 ふくい千年文化中学生クイズ大会 (仮称)

質疑なし

○第2号 寄附採納の件(たかはし歯科)

(学校教育課長説明)

質疑なし

○第3号 寄附採納の件(カレン・レオン、ローラ・レオン、ニナ・レオン)

(学校教育課長説明)

質疑なし

○第4号 寄附採納の件(福井エフエム放送株式会社)

(学校教育課長説明)

質疑なし

3. 審議事項

- 第 11 号 臨時代理の承認の件（敦賀市教育委員会教育長事務委任規則等の一部改正の件）
（教育総務課長説明）

全会一致承認

- 第 12 号 臨時代理の承認の件（敦賀市教育委員会事務決裁規程の一部改正の件）
（教育総務課長説明）

全会一致承認

- 第 13 号 臨時代理の承認の件（敦賀市立博物館の設置及び管理に関する条例施行規則等の廃止の件）
（教育総務課長説明）

全会一致承認

- 第 14 号 臨時代理の承認の件（敦賀市民文化センター防火管理規程の廃止の件）
（教育総務課長説明）

全会一致承認

4. 協議事項

なし

5. その他自由討議

宮川委員… 3月に敦賀市のこども計画が策定されました。学校教育課の推進目標の一つとして、いじめのところに「サポートルームの整備」が目標として掲げてありますが、具体的な内容やこれからどんな風に、どう整備を進めていくのかお聞きしたい。

教育長… サポートルームという制度の中で一番のキーは、サポートルームの支援員が配置されるかどうかであり、それは国・県の施策の中で予算化されます。

昨年度から敦賀市には4校にサポートルームが配置されていますが、運営する中で、やはり非常に効果があるということが見えてきました。これまでは、教室に入れたい子供が相談室に来ても、常時相談室対応の教員が配置されていないため、子供にとっては、どの先生がきてくれるのかわからないという状況で、不安定な中で過ごすこととなります。また指導の一貫性という面でも難しい状況でした。サポートルームができてからは、支援員が常時同じ人あるいは2名程度が曜日によって入れ替わる体制となっており、固定された支援員がそこにおいて、子供はその先生のもとで過ごすことができるため、指導の一貫性や

人間関係の親密化というものが図られます。その結果、学校に来られる日数が増えたとか、その目的として教室復帰っていうことを強く求めるわけでもありませんが、教室に行ってみようという気持ちになって教室に行ける子が増えたという形で、明らかに配置校については効果がみられています。県によると敦賀市だけではなくどの市町でもサポートルームの配置校については効果が出ているということでした。

サポートルームを増やすための要望をしましたが、県の予算の都合もあり今年度は1校だけ増え、5校となりました。まだ11校ありますが、県の見通しとしては、今後予算化が厳しいため、各市町と協力していきたい、つまり市町も何とか予算付けてくださいと言われている状況です。

宮川委員おっしゃっていただいたように、3月にこども計画が答申され、そこにサポートルームの設立ということ提言していただいたことは大変うれしく思っており、少しでもそれを拡大していく必要があると考えております。そのためには予算の問題もありますが、担い手の確保も課題です。5校に正式に支援員がついておりますが、それぞれの支援員も毎日勤務できるわけではありません。1校のサポートルームに複数の支援員の確保が必要となりますので、その辺についても努力していかなければいけないと考えています。

子供たちのために非常に効果があると思いますので、教育委員会としても、敦賀市としても方法を探っていきたいなと思っています。

宮川委員… 目標倒れに終わらず、ぜひ地道に整備して下さい。

岸本委員… 令和の敦賀市学校教育ビジョンを読みましたが、校内サポートルーム設置の件を含めて安心して学べる場の充実、いじめ対策の充実についていろいろ書いてあります。昨年もしじめの問題がありましたが、現状を見ているとまだ十分ではないと考えます。本当に安心できる体制になるよう努力して行って頂きたいです。

以前、奈良市の先生とお会いする機会があり、奈良市ではいじめ対策について先進的に色々なことに取り組んでおられるという話を聞きました。

奈良市ではいじめ報告相談アプリを活用して、小中学生全員が24時間いつでもすぐ報告相談ができる体制になっているようです。奈良市はいじめの実態調査において、「いじめを受けたことがある人は誰かに相談しましたか」という質問に対して、いじめを受けたという子どもたちの60%強が誰にも相談をしていなかったことがわかり、それが導入のきっかけということでした。誰にも相談したことがない児童生徒が60%強ということは、埋もれているいじめが、小さいいじめ等も含めてたくさんある、実際にはいじめられたが、誰にも相談していないという児童生徒が非常にたくさんいるということであるため、24時間いつでもどこでも相談できる、匿名で相談できる、そういったアプリ導入

したとおっしゃっていました。

敦賀市も重大事案に発展するものが2年ほど続けてあり、奈良市と同様の実態もあるかもしれませんので、そういった実態をつかむようなアンケート調査も必要なんじゃないかなと考えます。

教育長… まずいじめの問題ですが、昨年度の重大事案、調査報告等を踏まえて敦賀市のいじめ対策について大々的に見直しをしました。その後、それを受けて各学校のいじめ対策基本方針についても改定作業を進めています。いじめ問題については、いじめられた児童、生徒を最優先かつ徹底的に守り抜くということを基本方針・根本方針として明記し、新年度に子どもたちや保護者にそのいじめの方針についてしっかりと宣言するよう指導しているところです。とにかく、いじめに対して今年度・昨年度の反省というか教訓を生かして改善した取り組みを進めていきますので、またいろいろとご指導をいただきたいと思います。

また奈良市の件もご紹介いただきありがとうございます。アンケートの中で「いじめや、いやな思いしたことありますか」という質問に対して、「ある」と答えた子の中で、でも相談はしなかったというケースは確かにあり、アンケート結果をどう生かすかということ今後も検討していかなければならないと思っています。大きな都市において取り組んでいることが、敦賀市でも取り組めるのかというところも難しいところもありますので、こういったことが実現可能なのかをこれからも考えていきます。

まずは、昨年度の敦賀市のいじめの対策というものを確実に実行していくという中で、宮川先生からいろいろご指導いただいた、敦賀病院を窓口とし、精神科等を受診するスキームが出来上がりつつあります。また、敦賀警察署などのいじめについての対策協議会の立ち上げについても今進めようとしています。そういったシステム的な構築も今年度はどんどんと実現していきながら体制を整えていきたいと考えています。また引き続き各委員より、様々な情報やご指導をいただきたいと思っています。ありがとうございます。

堺委員… 今後も教育委員会の会議の場で、今のようないろんな教育課題について、比較的自由に発言できる機会を設けていただけるとありがたいと思います。

教育長… こちらもぜひそうしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

教育長 花 木 秀 実

教育委員（職務代理者） 岸 本 松 則

教育委員 堺 啓 輔

教育委員 宮 川 和 彦

議事録作成者 教育総務課 刀根 慶太